



波佐谷城



本丸（主郭）の井戸と石垣が残る櫓台

所在地：石川県小松市波佐谷町
 立地：丘陵頂部、標高102m
 城主：宇津呂丹波、村上勝左衛門（村上頼勝家臣）
 時期：戦国
 見学時間（参考）：40分～60分

郷谷川と合流して梯川として流れ下る大杉谷川の右岸河岸段丘上に占地し、大杉谷川流域の平野部を一望することができる。

享禄4年（1531）の錯乱で賀州三カ寺の波佐谷松岡寺が焼失した後、一向一揆の宇津呂丹波が築城したと伝えられる。



出丸の北登城口

天正8年（1580）織田方の柴田勝家軍に攻められて落城し、同年丹波・藤六親子は他の一揆方首級とともに安土に送られている。天正11年（1583）、織田信長は村上頼勝を小松城に置いて地域支配を任せ、波佐谷城には頼勝が家臣の村上勝左衛門を置いたと言われる。

通称「本丸」は、松岡寺跡と伝わる西方の平坦地との間を自然に近い大きな豎堀状の谷筋により分断しており、その谷筋のある西側に石垣で固めた櫓台を伴う虎口を設け、曲輪の全周に土塁が巡っている。本丸に入る現在の遊歩道は虎口を通らず、西側の土塁を越えて入るように整備されている。

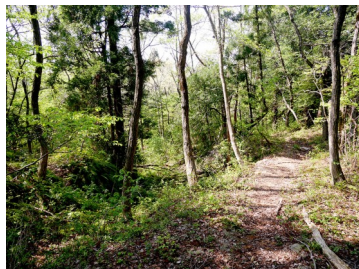


大手道の本丸・出丸分岐

通称「出丸」は2段の平坦地からなり、腰曲輪を設ける北側以外は土塁が巡り、南の尾根続きを堀切で遮断している。ムジナ谷と呼ばれる本丸との谷間に下る土塁開口部が大手虎口とされ、現在も遊歩道として使用されている。発掘調査では出丸で多くの出土遺物が見つかり、本丸より長期間使用されたと推定されている。



本丸（主郭）遊歩道入口



本丸登城道沿いの豎堀



出丸の土塁

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>